

■2011年前半（1月～6月）活動報告■

事務所訪問

6月9日（木）佐賀県ユニセフ協会事務所

佐賀県立ろう学校中学部の生徒さんは、昨年のユニセフ出前授業の後、「自分たちにできること」として、1年間で1kgの使用済み切手回収を目標に活動をしてきました。

校内の皆さんから協力してもらったたくさんの使用済み切手を担当の先生と一緒に事務所に届けてくださいました。ビタミンA、ORS(経口補水塩)、プランピーナッツなどのサンプルを見ながらその働きについて話し合ったり、使用済み切手がどのようにしてユニセフの支援活動につながるのかを熱心に聞いたりして勉強しました。

この後、今まで取り組んできたことをパネルにまとめて総合学習の時間に発表したり、秋の文化祭で発表したりする予定になっているそうです。



紙芝居「手おしポンプ物語」完成

6月4日（土）事務所

小城高校3年ogiamiの2人は、1月の事務所訪問で「困難な状況のなかで生きている子どもたちのために少しでも行動していきたい。まずは、多くの人たちに知ってもらうための資料作りを手伝って情報を提供したい。」と紙芝居作りに取りかかりました。

1月から6月までの半年間、土曜・日曜を利用して延べ56時間近くもの時間をかけて、「手おしポンプ物語」(15枚組)が完成しました。



【制作を振り返って】

生命が生きていくうえで一番貴重な「水」についての紙芝居を作ろうと思いました。思っていたよりも時間がかかって大変だったけれどやりがいがあり、達成感があります。大変だったぶん、終わってさびしい面もあります。紙芝居を見た子どもたちに水の大切さが伝わればいいなと思います。

「安全に飲める水」って、あって当たり前と思っていたけど、紙芝居を作りながら「当たり前ではない。」ということに気付いていきました。東日本大震災でも水を求めて並んでいる大勢の人々がありました。改めて「水」の大切さについて考えました。

募金贈呈式

5月30日(月) 日本語学校弘堂国際学園(鳥栖市)

弘堂国際学園の留学生の皆さんは、「東日本大震災で被災している子どもたちのために自分たちにできることをしたい。」と学内で募金を呼びかけました。

ベトナムから留学しているチャン・フエンさんは「被災地の子どもたちの役に立つようにと思ってユニセフを通して寄付したいです。子どもたちのために使ってもらえたら幸せです。」と、上手な日本語で話し21,765円の募金を託されました。弘堂国際学園の皆さま、ありがとうございました。



チャン・フエンさんとカンさん

第18回ユニセフチャリティーバザー

「東日本大震災緊急支援バザー」

5月22日(日) 佐賀玉屋デパートにて



「これいくらぐらい？」相談しながらの値付け



たくさんのお客様で大繁盛



子ども店長も大活躍



5月22日、佐賀玉屋南館アーケードで、「東日本大震災緊急支援バザー」を開催しました。

実行委員会からのお知らせ通信のみならず、「ユニセフニュースを見て。」「ホームページを見て。」「佐賀県からのお知らせメールを見て。」「新聞で知ったので。」と、県内だけではなく、県外からもバザー一品のご提供やボランティアのご協力がありました。当日、会場までお持ちくださった方もいらっしゃいました。お陰様で約700点の品物が集まりました。「東日本の子どもたちのために、自分にできることをしたい。」と、佐賀清和高校3年生4人の皆さんと若楠小学2年生の子ども店長は、大勢のお客様を相手に大活躍でした。

バザーの売上は、164,314円にもなりました。バザー一品を提供くださった皆様、ボランティア協力をしてくださった皆様、会場をご提供くださった佐賀玉屋デパート様、そして、お買い物をしてくださったたくさんの皆様、大変ありがとうございました。

募金贈呈式

5月17日(火) 事務所

立正佼成会佐賀教会青年部の皆様は、5月15日(日)『青年の日』に、東日本大震災支援募金活動をされました。130名のボランティアの皆様が、JR佐賀駅前・佐賀玉屋デパート前・道の駅「そよかぜ館」・吉野ヶ里歴史公園・三瀬村まっちゃん・県立総合グラウンドの6会場で「被災地の子どもたちのために」と協力を呼びかけました。

本日、代表の方が皆様からご協力いただいた浄財481,803円を事務所にお持ちくださいました。各会場でご協力いただいた皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました。



ユニセフグッズの頒布&ユニセフ活動の紹介

5月15日(日) 唐津市虹の松原広場

第42回『青年の日』

第17回 チャリティーフェスティバル ～さあ 一歩踏み出そう 青年が！～

空高くトンビが輪を描き、潮風が松林を吹き抜ける爽やかな虹の松原広場で、青年の日実行委員会とボランティア団体クローバーによる「第17回チャリティーフェスティバル～さあ 一歩踏み出そう 青年が！～」が開催されました。

今年は東日本大震災の被災地に向けての支援目的で実施されました。会場では1,500人の市民の皆さんがフリーマーケットや屋台めぐり楽しめました。

NPO/NGO活動紹介で、ユニセフの東日本大震災被災地の子どもたちへの具体的な支援活動の様子をお話ししました。グッズのご協力は11,750円、募金箱には4,079円のご協力をいただきました。ありがとうございました。



「東日本大震災支援」～子どもたちの笑顔のために～

アンサンブルプレーメンと仲間たちコンサート

♪音楽と物語の世界♪

5月8日(日) 佐賀県立美術館ホール(佐賀市城内)



佐賀県内を中心に活動するアンサンブルプレーメン(ヴァイオリン 森和幸・チェロ 古賀美加・ハープ 小出瑠衣子・ピアノ 木須千津子)と、その仲間たちによるコンサートが開催されました。たくさんの親子連れが、美しい音楽と「おおはくちょうのそら」の物語の世界を楽しまれました。

佐賀県ユニセフ協会は、東日本大震災におけるユニセフの支援活動の様子を、お話とパネルでお伝えしました。ロビーではユニセフグッズの紹介と募金活動をしました。

ロビーは、「風の画家 中島潔が描く『命の無常と輝き』展」の最終日とあって多くのお客様で賑わい、パネルやグッズをご覧になったり募金に協力して下さったりしました。おかげさまで、51,419円の募金と34,860円のグッズのご協力をいただきました。ありがとうございました。



東日本大震災緊急募金活動&グッズ頒布

5月3日(火) 今右衛門前にて(有田町赤絵町)



有田陶器市は例年4月29日から5月5日までのGWに開催されます。いつもは静かな焼き物の街も例年100万人を超える人出で賑わいます。3日は朝から曇り空で時おり小雨がぱらつくお天気でしたが16万人の人出でした。陶器市メインストリートの中ほどにある今右衛門前で、東日本大震災緊急募金とユニセフグッズの頒布を行いました。

佐賀大学・西九州大学の学生さん他、総勢22名のボランティアの皆様は早朝より会場に来てくださり、メインストリートを歩かれる多くのお客様に募金協力や、グッズへのご協力を呼びかけました。

今年も佐賀大学のマスコット・キャラクター「カッチーくん」の応援があり、姿を現すやたちまち多くの子どもたちに囲まれ握手攻めにありました。「カッチーくん」の募金箱にかわいいお財布から募金をしてくれた子どもたちもいました。また、動画サイトに投稿するからと記念撮影もされて大人気でした。

多くの皆様のご協力をいただき、89,923円の「東日本大震災緊急募金」と、27,170円のグッズのご協力をいただきました。ありがとうございました。

ユニセフパネル展

4月29日(金) 第26回花みずき茶会にて(佐賀市金立山いこいの広場)

満開の花みずきが新緑に映えるなか、「第26回花みずき茶会～平和への祈りをこめて～」が開催されました。主宰の岩橋宗厚先生はユニセフや国際ソロプチミストを通して、困難な状況下にある子どもたちへの支援を続けておられます。

今年は「がんばろう日本 東日本大震災支援茶会」として、茶道具も東北に縁のあるものを揃え、多くのお客様とともに被災者の皆様へ心を寄せて、一人でも多くの行方不明の方がご家族のもとへ帰られますように、一日も早い復興を願っての茶会となりました。

待合には、東日本大震災におけるユニセフの支援活動の様子のパネルを展示しました。給水車で水を届けている様子、避難所の子どもたちへ「箱の中の幼稚園」などの玩具を届けている様子、乳児健診の様子、学校再開のための支援の様子などをご覧いただきました。



ユニセフパネル展

4月29日(金) 第26回花みずき茶会にて(佐賀市金立山いこいの広場)



満開の花みずきが新緑に映えるなか、「第26回花みずき茶会～平和への祈りをこめて～」が開催されました。主宰の岩橋宗厚先生はユニセフや国際ソロプチミストを通して、困難な状況下にある子どもたちへの支援を続けておられます。

今年は「がんばろう日本 東日本大震災支援茶会」として、茶道具も東北に縁のあるものを揃え、多くのお客様とともに被災者の皆様へ心を寄せて、一人でも多くの行方不明の方がご家族のもとへ帰られますように、一日も早い復興を願っての茶会となりました。

待合には、東日本大震災におけるユニセフの支援活動の様子のパネルを展示しました。給水車で水を届けている様子、避難所の子どもたちへ「箱の中の幼稚園」などの玩具を届けている様子、乳児健診の様子、学校再開のための支援の様子などをご覧いただきました。

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式

4月11日(月) イオン佐賀大和店(佐賀市大和町)



イオンでは毎月11日を「イオン・デー」として地域社会の一員として、貢献活動を行う日として制定されています。「イオン幸せの黄色いレシート」は、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地域の名が書かれた店内備え付けのBOXへ投函していただき、レシートのお計の1%をそれぞれの団体に還元するというシステムです。

イオン佐賀大和店には26団体が登録しています。2010年3月より2011年2月までにユニセフのBOXにご協力いただいたイエローレシート投函金額の1%、45,200円分のカードを橋本店長より贈呈されました。全額、「東日本大震災緊急募金」として、子どもたちを中心とする被災者の皆様への支援に活用させていただきます。



東日本大震災緊急募金

3月26日(土) ライブハウスガイルス(佐賀市)

「東日本大震災」緊急支援チャリティーライブ

「佐賀から被災地の子どもたちへ」

～木原慶吾 & スピリッツ ボランティアライブ～

木原慶吾 & スピリッツのリーダー、木原慶吾氏は「自分にできることをしよう」と東日本大震災で被災した子どもたちを支援するために「佐賀から被災地の子どもたちへ」

～木原慶吾 & スピリッツ ボランティアライブ～を企画開催しました。木原氏の呼びかけに県内外の14組のアーティストが賛同し出演を快諾、会場に駆けつけてくださいました。幅広いジャンルで、祈り、感謝、愛、励まし等々楽曲も多様でしたが、被災された方々への思いは同じで、来場されたお客様とともに佐賀からのメッセージが東日本の皆様へ届きますように...と、心一つにして演奏してくださいました。

ティーンズミュージカル佐賀の子どもたちは、「全国に助け合いの風を吹かせたいと思います。」とオリジナル曲「風を吹かそう」を熱唱しました。

会場に置かれた募金箱には、82,023円の募金が寄せられました。お預かりした東日本大震災緊急募金は、全額、子どもたちを中心とする被災者の方々への支援に活用させていただきます。プロデュースしてくださった木原慶吾氏、ボランティアでご出演いただいたアーティストの皆様、ご来場の皆様、大変ありがとうございました。



ボランティアライブにご出演いただいたアーティストの皆様
(敬称略)

木原慶吾 & スピリッツ
ななこが

Shana
廣瀬隆章

MIYUKI

マエダケンタロウ
SatomiN

Funky Arts Freeks
瀬上史貴

SKUNK SHOT BOOSTER

佐野マサル

北村尚志

トロンボーンアンサンブル
マイナーズ

ティーンズミュージカル佐賀



東日本大震災緊急募金

3月24日(木)ブリスAコープ(西松浦郡有田町)

卒業式を目前にした曲川小学校6年生のK君は大震災のニュースをテレビで見ながら「卒業式を迎えられない6年生が大勢いるんだね。かわいそう。何か自分にできることはないかな。」とお母さんに相談し、募金活動をすることにしました。卒業式の日、友だちに声をかけ賛同した友だちやお母さんたち12人で「曲川小102卒業生」グループを作り、東日本大震災緊急募金活動をしました。

手作りの「東日本大震災募金ボランティア」、「みなさまのあたたかいご支援をおねがいします」のポスターを持って、お買い物のお客様や下校途中の小学生たちに大きな声で協力を呼びかけました。地域の皆さま方の温かいご協力で103,520円もの義援金をお預かりしました。曲川小102卒業生の皆様、応援してくださった西有田地区の皆様、会場をご提供くださったブリスAコープの皆様、大変ありがとうございました。募金活動をして

3時間立ちっぱなしでできなかったけど、地震で家族や家をなくした子どもたちのことを思ってがんばりました。こんなにたくさんのお金が集まって、がんばってよかったです。

ぼくたちの力は小さいけど、みんなの力が集まるとこんなに大きくなると分かりました。よかったです。地震や津波にあった子どもたちに元気になってもらいたいです。



東日本大震災緊急募金

3月21日(日)イオン佐賀大和ショッピングセンター(佐賀市大和町)



「東日本大震災緊急募金」の3日目は小雨でした。ボーイスカウトカブ隊・ビーバー隊の子どもたちは大きな声で「地震津波でお母さんをなくした子どもがいます」「お父さんをなくした子どもがいます」「お父さんとお母さんをなくした子どもがいます」「子どもをなくしたお父さんお母さんがいます。」「義援金にご協力ください。」と呼びかけました。子どもたちの懸命のよびかけに多くのお客様が足を止めてご協力くださり、162,603円もの募金になりました。

ご協力いただいた多くのお客様、会場をご提供いただいたイオンスーパーセンタ佐賀店様、ボランティアの皆様、大変ありがとうございました。

協力ボランティアは、ボーイスカウト佐賀第1団カブ隊・ビーバー隊の子どもたちと保護者の皆様、飛び入り参加の大学生、3日連続で協力して下さった大学生など総勢28名でした。

募金贈呈式

3月3日(木)三養基郡上峰町立上峰小学校

上峰小学校ボランティア委員会の皆さんは、昨年末の上峰サティでのユニセフ・ハンド・イン・ハンドに参加しました。

【募金活動をして】

初めはなかなか協力してもらえなかったけど大きな声で呼びかけたらだんだんたくさんの方が協力してくれるようになりました。みんなから協力してもらってとっても嬉しかったです。

ハンド・イン・ハンドで体験したことをきっかけとして校内募金活動に取り組みました。ポスターを作ったり校内放送でユニセフのお話をしたり、給食の時間に協力を呼びかけたりしました。本日、20,003円のユニセフ募金の贈呈がありました。ありがとうございました。



ユニセフ出前授業

2月22日(火) 佐賀市立松梅小学校1年～6年

テーマ ; 「水とトイレと子どものいのち」

松梅小学校では3学期の人権同和学習で「世界の子どものいのち」について考えました。日本の日常生活ではあまり意識しない「水とトイレ」の問題は、世界の子どもたちにとっては大変大きな問題であるということについて考えました。

【学習を振り返って】

子どもたちが「水運び」をしていることは知っていたけど、「水運び」のために一日の多くの時間をつかうので、学校に行けない子どもたちがいるということは知りませんでした。ユニセフは井戸を作っているのでユニセフ募金に協力したいです。

遠くまで水汲みに行って大変だと思いました。水運びは重かったです。これから水を大切に使おうと思います。



ユニセフグッズの頒布 & 募金活動

2月19日(土)20日(日) 第35回日本ハンドボールリーグ大会にて(トヨタ紡織九州クレインアリーナ)



第35回日本ハンドボールリーグ大会において、熱戦を終えたばかりのトヨタ紡織九州レッドトルネードの選手の方々は、汗をぬぐいながらユニセフの募金箱を抱えて募金活動をしてくださいました。今回の試合でプレーオフ進出決定。優勝を目指して頑張っておられます。

レッドトルネードの皆様は社会貢献活動の一環としてユニセフを応援してくださっています。カイ君も首から募金箱をさげてお手伝いをしました。

レッドトルネードの皆様、ハンドボールファンの皆様、会場に出店された企業の皆様、ありがとうございました。

春だ！集いだ！市民活動まつり ~愛ある夢をiスクエアから

切手のまわりをていねいに切っているよ 村の様子がこんなに変わった！ ぼくも10個見つけたよ！
2月12日(土) 佐賀市iスクエアビル

テーマ：①before; after 「村に井戸ができたら・・・」
②体験しよう「ユニセフチャラボ」

朝から雪が舞う寒い一日でしたが、iスクエアの館内は大勢の家族連れで賑わい熱気があふれました。「市民活動まつり」には26の団体が参加し、来場された市民の皆様それぞれの活動の紹介をしたり体験交流をしたりしました。



切手のまわりをていねいに切っているよ



村の様子がこんなに変わった！
ぼくも10個見つけたよ！

ユニセフのブースではbefore & after 「村に井戸ができたら...」のワークと「ユニセフチャボラ」で使用済み切手の整理ボランティア体験をしました。

村に一つの井戸ができるだけで村の暮らしが大きく改善されることに気付いたり、切手の整理をしている様子を見られた来場者から使用済み切手回収ご協力のお申し出があったりして有意義な交流ができました。

募金贈呈式

2月1日(火)大川市立道海島小学校



道海島小学校6年生のみなさんは、総合的学習の時間の発展として「校内ユニセフ募金活動」に取り組みました。その結果、9,596円の募金が集まり「全校つどい」の時間に贈呈式が行われました。新鮮な野菜類を食べることができない多くの子どもたちの健康を守るためにユニセフが支援している「ビタミンA」の話をしました。

事務所訪問

1月6日(木) 佐賀県支部事務所

冬休み中の1月6日、小城高校2年生の生徒さんが「世界の子どもたちのことをもっと知り、自分たちにできることをしたい。」と事務所を訪れました。

ユニセフの活動に関心を持ったきっかけは、学校のオンリーワン活動で「児童労働」と「OECD諸国の途上国支援～ボランティア活動～」について調べたことだということでした。

【学習を終えて】

話を聞いて、私たちの今の生活からでは考えられない状況だということが分かりました。これから困難な状況のなかで生きている子どもたちのために少しでも行動していきたいです。まずは、多くの人たちに知ってもらうための資料作りを手伝って情報を提供していきたいです。